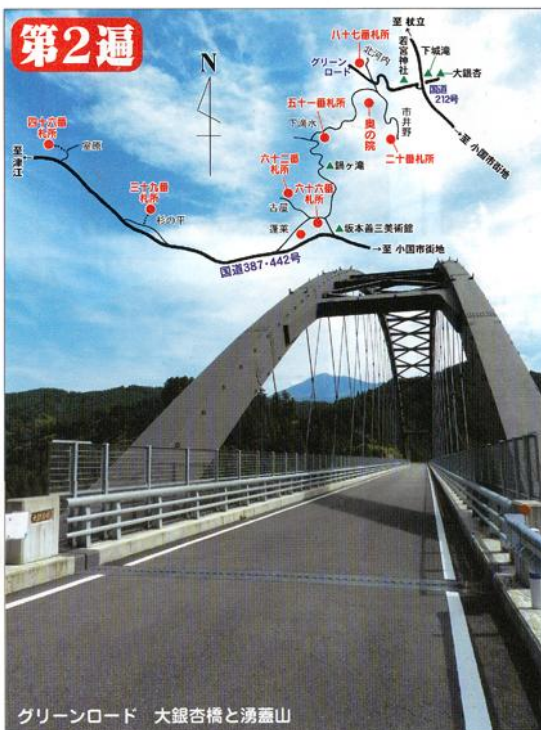




**シューナ**  
 小国ツーリズム協会 TEL:0967(46)4440 http://tourism-oguni.com E-mail: info@tourism-oguni.com  
 小国町役場 TEL:0967(46)2111 http://www.town.oguni.kumamoto.jp/oguni.html/index.shtml  
 杖立温泉旅館組合 TEL:0967(48)0506 http://www.wakutai.jp/ E-mail: ryokan@tsudetai.jp  
 FMおくに76.5MHz(グリーンボケット) TEL:0967(23)2052 http://fmoguni.com/index.html  
 坂本善三美術館 TEL:0967(46)5732 http://www.sakamotozenzoo.com 杖立Pホール TEL:0967(48)0484  
 JA阿蘇小国郷中央支所(農業協同組合) TEL:0967(46)3211 http://ajc.jc.jp  
 小国町商工会 TEL:0967(46)3624 http://www.kumashoko.or.jp/oguni/  
 わいた温泉組合 TEL:0967(48)5277 http://www.waita.info/  
 (財)学びの里・木魂館 TEL:0967(46)5560 http://www.manabiyanosato.or.jp/

発行所  
 小国ツーリズム協会  
 情報宣伝部  
 所在地  
 熊本県阿蘇郡小国町  
 大字宮原1754-17  
 「道の駅」小国  
 ゆうステーション2F  
 電話0967(46)4440

●シューナは、「いっしょに車を 始めよう」という小国地方の言葉です。  
 小国ツーリズム協会 検索



グリーンロード 大銀杏橋と湧蓋山

# 空海の歩いた小国路



## このころを休めてのんびりと

小国郷八十八ヶ所巡りの区切り打ちの第2遍です。下城の大銀杏及び下城滝詣でからスタート。新しく開通したグリーンロード(農免道路)を通して大字黒淵に入り小国の最西端にある室原の薬師如来までの七ヶ所と奥の院一ヶ所を紹介します。

### 下城と黒淵巡りのヒーリングスポット

スタート地点では、いきなりの大銀杏に圧倒されます。樹齢千年の銀杏の樹は、歴史の五輪の塔があります。郷土の祖先の遺物として尊重し

感謝の意を表わして下さい。そして、振り向けば壮大で幽玄な下城滝があります。一帯は人を寄せつけないような滝でしたが観光資源として吊り橋や階段など滝道が整備され落差およそ40mをS字に4段になって下るようすをスリルといっしょに見ることが出来ます。観覧無料ですが注意事項は守って下さい。

下城若宮神社を過ぎるとグリーンロードで最も難工事だったと思われる大銀杏橋(おおいちょうはし)。谷を渡るというより天空を渡るという感じがします。

目の前に小国のテレビ中継塔のある鈴ヶ岳を見上げながら一気に降りましょう。(もちろん対向車に注意) この山に奥の院があり、地名を賤ヶ嶽(しずがだけ)としてあります。「すず」と「しず」耳伝えで変わったのか不明です。



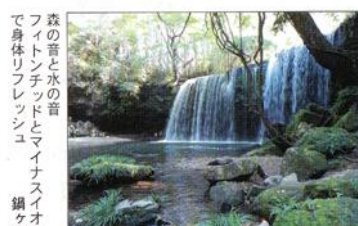
樹齢千年の公孫樹 秋の黄葉の見頃を迎える 下城大イチョウ

谷を渡り北側の字北河内集落へ、珍しいイボ石なるパワーストーンが祀ってあります。詳しくは地元の人にお尋ね下さい。御堂の脇に町指定の天然記念物種(カヤ)の木があります。基盤に適した材です。南側の字市井野の集落では地元の方に説明を受けました。五輪の塔、経塚、磨崖仏(羅漢像)など。ただ、昔むして説明を受けたいとわかりません。ついでに賤ヶ嶽の奥の院まで案内を受けたがクサリ場までは行けません。



S字に流れ落ちるウォーターfalls イターで水が遊んでいる 下城滝

この集落を下ると名瀑、鍋ヶ滝。滝の裏側が歩けるこの滝は、森林浴と飛沫浴が同時に楽しめるという一石二鳥の



森の音と水の音 フォントリッドとマイナスイオンで身体リフレッシュ 鍋ヶ滝

鈴ヶ岳から大字黒淵字下滝(しもたるみず)集落への途中、棚田の向こうに湧蓋山(小国富士)の風景を眺め、かつてひたすらに歩き巡られた空海に思いを馳せ、風と緑を感じ、先の聖地を目指します。「したたる水」を地名にするほど清冽しい水場の上には御堂がありました。趣きのある草葺きだった屋根もとうとう朽ちて40年前に替えたとはいま

風と緑と水音を感じながら 滝です。ゆつくり、リラック気分を感じることで自分らしさを悟って下さい。そして、字西蓬菜から字古屋(こや)と巡る。西蓬菜には二カ所あり、たぶん熱心な人が分祀したのでは。蓬菜という中国伝説の縁起の良い地名にも興味をひく。国道387・442号線(併)を西に向かつて字杉の平、町の最西端、字室原へ向かう。下室ダム湖の向こうは小国の山々とは極端に違う、津江の尖った山々が見えます。ここが空海はウターンとなります。

お寺がない!? ここで大字下城地域の札所巡りは終わりですが、気がつけば、この区域にはお寺がありませんでした。小国郷九つの大字がある中で唯一お寺のない大字でした。歴史的な背景として豊後の切支丹大名、大友宗麟(義頼よししげ)が勢力拡大から衰退して行く頃、キリスト教信仰に深入りした余り神社仏閣を破壊したとい

う話が知られています。大友氏の本地である豊後国内や筑後国内での破壊は家督を継いだ長男義統(よしむね)が主導した可能性もあるとし、仏像や文書なども焼失させるという行為を行っています。小国にも攻め入って来られ、ほとんどの寺社も焼かれた伝説が残っています。その後、再建されていますが下城地区にはできなかったということでしょう。





私の祖父は、朝起きると家の前の神社に向かって「天神様、天神様」と声を出しておまいりしていました。天神様とは、菅原道真の尊

敬語だそうです。神棚には、小国両神社の「天照皇大神宮」をはじめ数神の御札が祭られています。私の隣には「浄土真宗」の仏壇があります。我が家は神仏混交、多神教の家系の

### 「我が家の宗教」

小国ツーリズム協会会長 宮崎 暢 俊

光気分で訪れてしまいます。申し訳ない。そして、仏様でも家族の平穏無事な暮らしをお願ひしてしまいます。先日、天草の湯島に釣りに行きました。宿の前には、大漁を願う「大福神」が祭られていました。深々と頭を下げました。その御蔭で大きなヒラメを釣ることができました。人は、生きていくうえで、支えになる祈りの対象が必要なのだと思えます。



大師坐像

二十番札所 地藏菩薩 市井野 南側の集落入り口、石段を上った所にある。松と杉の巨木が寄りそっている。大小の御堂があり大師坐像は小さい方であった。



市井野



旧道沿いに苔に埋もれた摩崖仏といわれる石の彫刻が数点あった。いつからこの地で眠っているのか



北川内(北河内)

八十七番札所 毘沙門天 北川内 場所の資料は集落上部とあるだけ。家々の背戸を通らせば



パワーストーンのイボ石

でもらった。町指定天然記念物のカヤの木が傍にあり、神木としてある



下滴水 (清掃後で水の入替え中の水場)

五十一番札所 薬師如来 下滴水 集落内水場の上にある。御堂らしからぬ外観。階段は急勾配で怖いので水場を囲むスロープ板をすする。上部が台風で倒れた夫婦ト子の木の間を通る。木は下の家を見て倒れたそうだ。



御堂内



奥の院



稲荷大明神

不動明王 賤ヶ嶽 山の中を分け入る所で地元の方の案内で稲荷大明神まで辿り着いたが不動明王までは足場悪く断念。



古屋

六十二番札所 観世音 小屋 現在では字古屋とある。道沿いにあり参拝はラクである。石垣突き立派な御堂。奥に小さい五輪塔もある。



同公民館近くの佐藤さん宅裏庭



西蓬萊下組公民館玄関先

六十六番札所 馬頭観音 蓬萊 昭和57年作成の資料では西蓬萊下組公民館裏とある。ただ、巡礼者の話では近くの個人宅内にも大師坐像があり両方参っているようだ。



室原

四十六番札所 薬師如来 室原 室原(ムロバル)と呼ぶ。松原・下笠のアベックダムができて小国町で最西端の集落になる。国道から集落へ入るとすぐ神社があり、その先の



像の飾り物

記念石碑から眺めて奥の方にモミジの巨木のある所(行き止り)。こちらも御堂らしからぬ建物だが上がり口の象の頭部の彫刻が雰囲気を出している。



杉の平

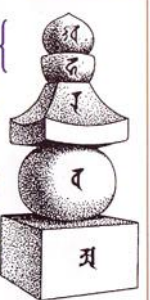


御堂内

三十九番札所 薬師如来 杉の平 杉の平バス停前を上がる。家々の一番上にある。こも立派な御堂である。横には由緒ありそうな石塔もある。

小国郷史によれば小国にある五輪塔は鎌倉時代からのものが多いとあります。五輪とは密教の世界を構成する「五大思想」に基づき空・風・火・水・地の要素を円輪にかたどったもので、塔は台石が地輪(方形)で丸輪が水

## 五塔輪



頭石 傘 丸輪 台石 礎